

# うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)の事です。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」やNPO団体などを紹介します。

問 地域振興課 ☎82・3910/IP ☎88・9094

## 1 菟田野魅力発見体験ツアー

～菟田野まち協～

10月9日、今回で5回目の農業体験の開催となりました。30人の募集に対して、全員に参加いただくことはできませんでしたが、県内外から58人と多数のご応募をいただいたことを大変うれしく思っております。

当日の工程は、さつまいも掘り・黒豆収穫・稲刈り体験・終わりの会となっております。各体験毎に担当スタッフからのクイズ等を交えたユーモラスな説明をしながら体験していただきました。



▲お芋掘れたよ

参加者の方たちは「黒豆」が宇陀の発祥地であることや「さつまいも」は掘ってすぐに食べても美味しくなく「追熟」といって2週間程置いておくのが甘みが増すなどの説明を受け、熱心に聞いていました。各体験とも子どもたちが主役で、芋掘りや



▲コンバイン体験中!

稲刈り体験など最初は一生懸命掘ったり、刈り取ったりしていましたが、バッタやカマキリなどの虫が出てくると追いつけ回して体験そっこのので、楽しんでいました。

参加者の方からは「久しぶりに子ども達の笑顔が見られてよかった」と「いろいろな体験を親子で楽しめました」との感想が聞けました。



▲全員で集合写真

今回、無事に開催ができたこと、皆さんのスタッフへのお礼の言葉や体験を楽しんで頂けたことは、スタッフ一同大いに励みになっていきます。

次回には新メニューも計画し皆さんをお迎えしますのでどうかよろしくお願いたします。



▲整備作業の様子

## 2 お伊勢参りで賑わった伊勢本街道を整備

～内牧地域まち協～

10月3日、当まち協の防犯・防災部会で環境保全を目的に伊勢本街道の整備を実施しました。

かつては多くの参拝者が通って賑わった街道ですが、今は利用する方も少なく、手入れが必要になっていきます。福田善和部会長と部会員が朝から本街道脇の雑草や張り出した木の枝、本街道上に倒れてきている竹などを切つてきれいにしました。

今回の作業場所は、内牧地域の旧家で往時の面影が残る宮田家から松本家のわきを通り、高井の千本杉方面へ向かうルートです。当日は草刈り機やチェーンソー、ノコギリなどを使いながら整備をしました。

## 3 宇陀松山華小路、はならあと2021

～ダリアの華いっばい、楽しいオブジェ～

～宇陀松山まち協～

宇陀松山の町並みに色を添えるイベント、「宇陀松山華小路」は、今年で13回目を迎え、すっかり定着した感があります。今年、「はならあと」との同時開催となりました。

本膳小路では、美しいダリアの華を風情ある路地に敷き詰め、今回は奈良女子大学インターン生6人がテーマを考えました。統一



▲インターン生の作品

モチーフは「みず」、そして「しずくのおつまり」。平面から立体へ、今までは一味違う構成となりました。「はならあと」では、旧芝居小屋「喜楽座」を主会場として、大宇陀小学校4年生児童が参加して、オブジェ制作、展示すると共に、トークライブやセッションが開催されました。

期間中は天候にも恵まれ、マルシェやスタンブラーが行われ、多くの方々を訪れていました。



▲沢山の方がダリアの華小路を見に来られました



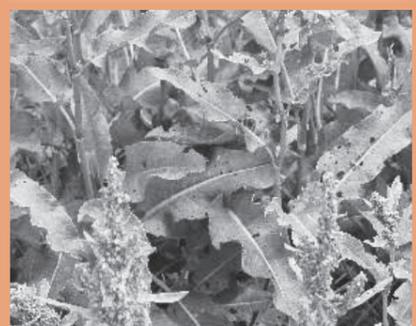
## ギシギシ

道端の少し湿り気味の雑草の中に、ひときわ大型の植物が見られます。これがギシギシです。初夏には茎の先端に淡黄色のあまり目立たない花を付け、その後、実を付けます。今は茎も枯れていることでしょうか。ところが、根元を掘ると黄色い根が得られます。この根は羊蹄根といわれ、水で洗った後、乾燥して生薬とします。採取して一年以上たつた古いものを使用します。新しい根をせんじると、強い吐き気を起こすからです。

羊蹄根を一日5～10gせんじて服用すれば緩下剤となり、慢性の便秘や胃がいれん、痔

に効果があります。痔の場合は、せんじ液で患部を洗っても効果があります。ギシギシの生の汁(酢を少し加えて数日間置いたものはさらに良い)を外剤として塗布すれば、にきび、湿疹、水虫、リウマチなどに効果があります。皮膚の弱い人は多少染みて痛むことがあります。

ギシギシの若葉、若茎をゆでて、よく水にさらし、食用とします。水のさらし方が足りないと酸っぱくて食べられません。十分さらしてください。食べることで、魚毒を消し、小児の疳を治し、便秘にも効果があります。



▲熱湯に通し、水にとってさらし、小さく刻んでスープに入れてもおいしいですよ。

※当市で「薬草活用講演会」をさせていただいた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

薬草道遥(やくそうしようしよう) 毎回「薬草」に関わる内容を連載でお届けするコラムです。

問 商工業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075